

跡活用検討等の経緯

時期	内容
平成25年（2013年）3月	教育委員会が「札幌市立小中学校の学校規模の適正化に関する地域選定プラン（第2次）」を策定。「上野幌・青葉地域」が適正化の対象地域に選定される。
平成26年（2014年）8月 ～平成31年（2019年）2月	地域住民等で構成される学校規模適正化検討委員会が設置され、統合の組合わせや通学区域等の協議が重ねられる。
平成29年（2017年）	「上野幌・青葉地域 北側部会 意見書」において、青葉小学校を上野幌小学校へ統合し、青葉小学校跡地を活用することが決定される。
令和元年（2019年）6月	閉校に先立ち、地域住民代表で構成される「青葉小学校跡活用検討部会」が設置され、具体的な跡活用の方向性や地域要望の整理を開始。
令和2年（2020年）3月末	旧青葉小学校 閉校
令和2年（2020年）4月	旧青葉小学校と旧上野幌小学校が統合し、旧上野幌小学校の校舎を活用した「新札幌わかば小学校」が開校する。
令和6年（2024年）3月	旧青葉小学校の校舎・体育館等の建物解体工事が完了し更地となる。
令和6年（2024年）12月	行政利用の見込みがないことから、地域が求める機能を売却条件に付した「民間活力を導入した跡活用」を行う方針が部会で合意される。
令和7年（2025年） 1月～3月	サウンディング調査を実施し、民間事業者4者から応募あり。
令和8年（2026年）3月	第11回検討部会において、サウンディング調査結果等を踏まえた「公募条件」および「近接する青葉児童会館（令和10年3月閉館予定）との一体での跡活用」について、承諾が得られる。